

AIヒヤリハット報告アプリ 初期設定&動作確認

2023年11月5日 日本マイクロソフト株式会社



はじめに

本テンプレートはサンプルであり、Microsoft Power Platformにおいて、参考情報の提供や、個人と企業のコミュニケーションを促進する目的でのみ使用することができます。

本テンプートおよび関連サービスは、恒久的なアプリケーション使用を意図したものではありません。日本マイクロソフトはそのような目的で本テンプレートおよび関連サービスを使用するライセンスや権利を本テンプレート利用組織に付与していません。

本テンプレートおよび関連サービスは、各企業のニーズを全て含めるように設計されたものではなく、そのような用途で使用されるものではありません。実際の利用や必要な追加のカスタマイズは導入支援パートナーに確認・依頼してください。

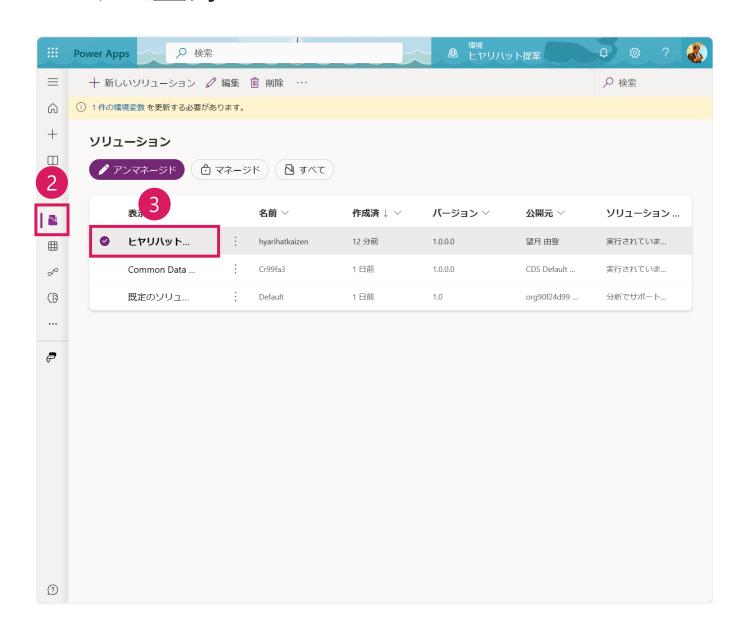
本テンプレートおよび関連サービスのいかなる使用においても、利用者がすべてリスクと責任を負うものとします。また、実装した本テンプレートおよび関連マイクロソフトサービスの使用に関して、適切な警告や情報をエンドユーザーに提供することについても、利用者が責任を負うものとします。本テンプレートは、日本国内での使用のみを目的とし、欠陥などがある可能性を含んだままの状態で提供されており、いかなる種類の保証も適用されません。





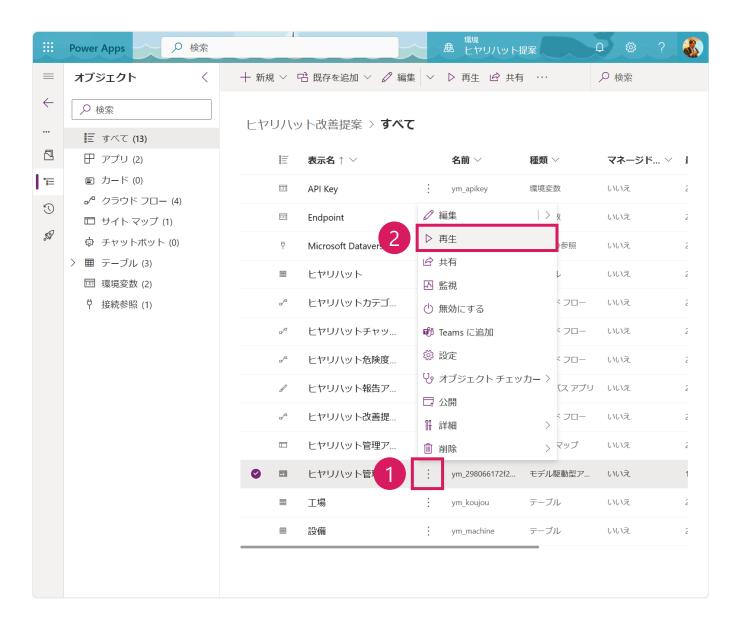
初期設定





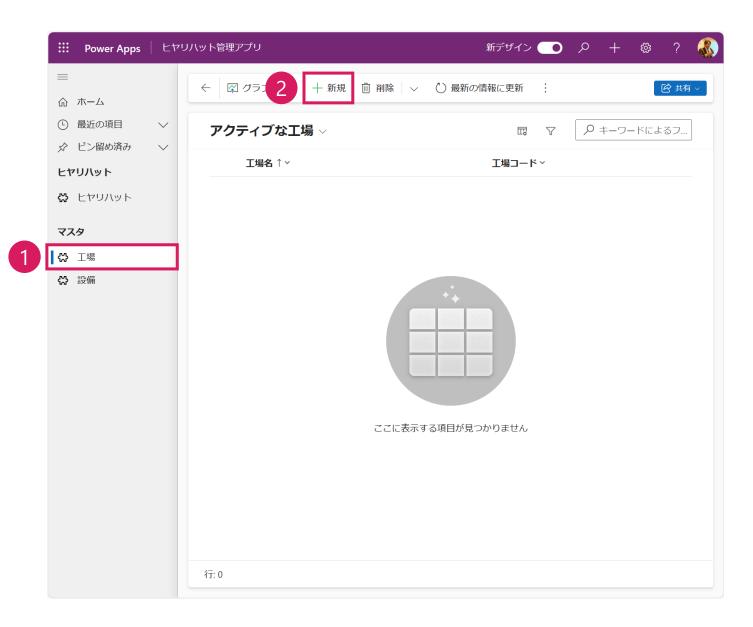
- 1. https://make.powerapps.com にアクセス
- 2. 「ソリューション」をクリック
- 3. 「ヒヤリハット改善提案」をクリック





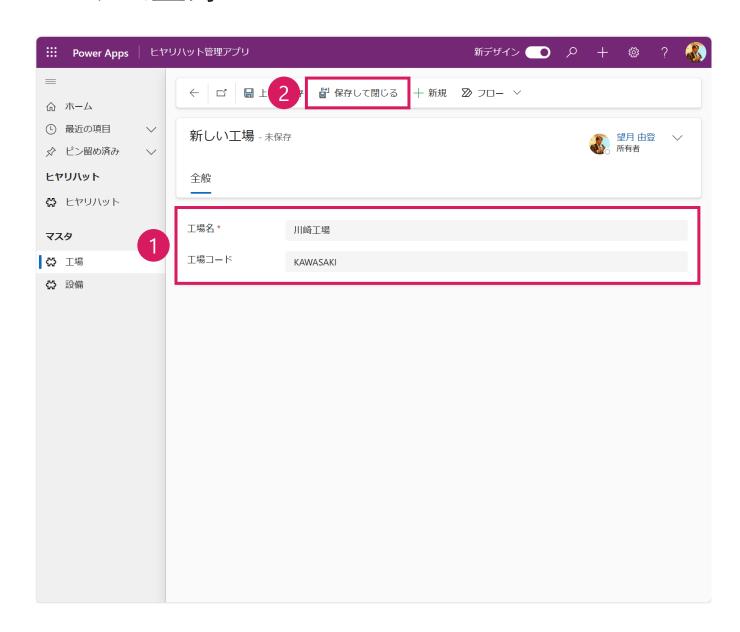
- 1. 「ヒヤリハット管理アプリ」の「・・・」をクリック
- 2. 「再生」をクリック





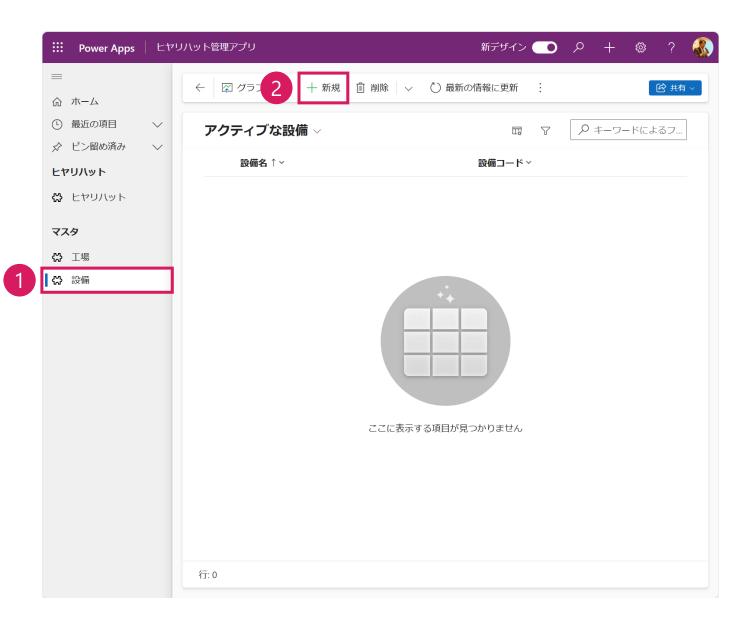
- 1. 「工場」をクリック
- 2. 「+新規」をクリック





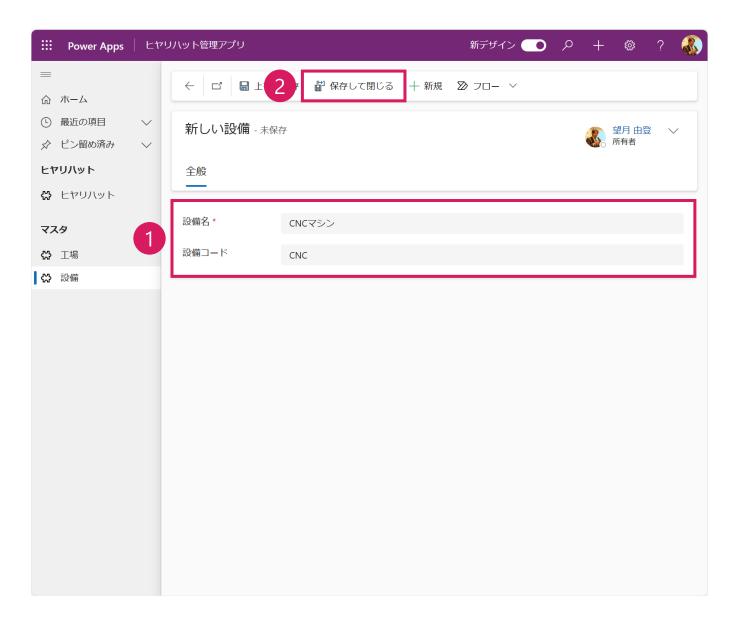
- 1. 「工場名」「工場コード」を入力
- 2. 「保存して閉じる」をクリック





- 1. 「設備」をクリック
- 2. 「+新規」をクリック



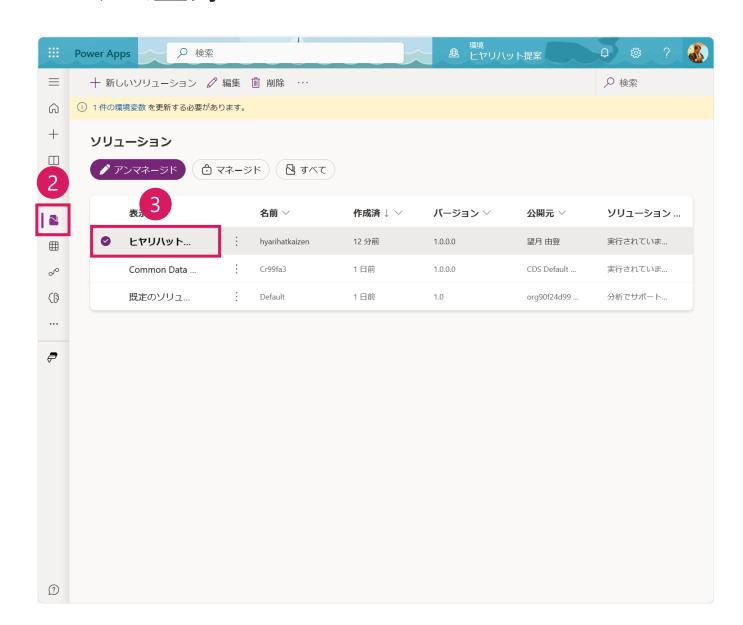


- 1. 「設備名」「設備コード」を入力
- 2. 「保存して閉じる」をクリック



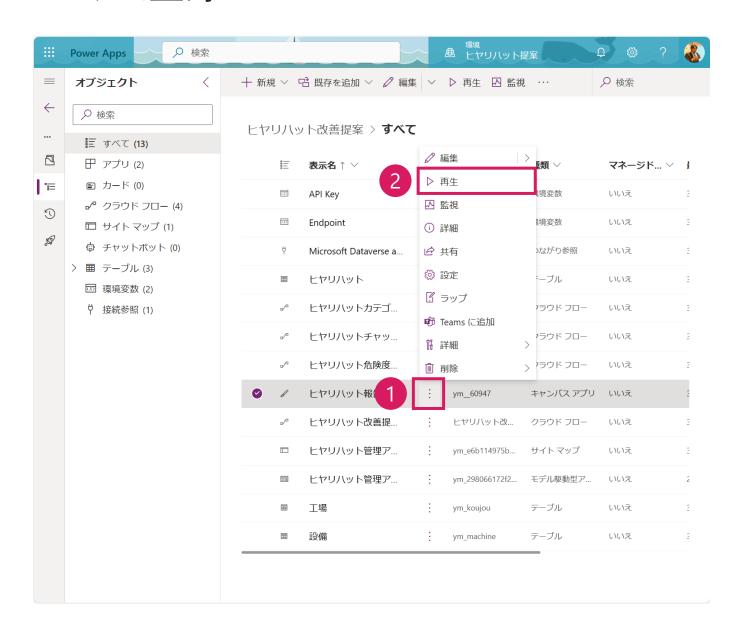
アプリ動作確認





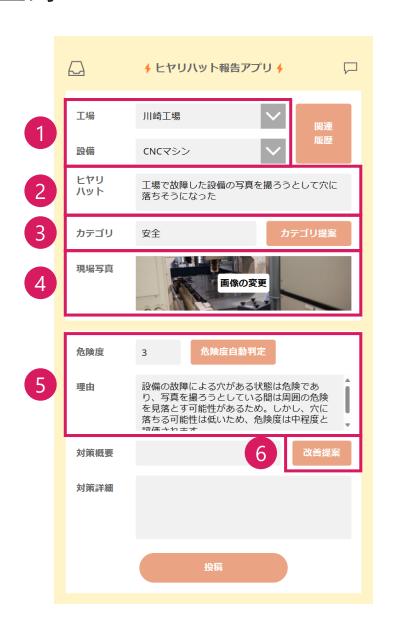
- 1. https://make.powerapps.com にアクセス
- 2. 「ソリューション」をクリック
- 3. 「ヒヤリハット改善提案」をクリック





- 1. 「ヒヤリハット報告アプリ」の「・・・」をクリック
- 2. 「再生」をクリック





- 1. 「工場」「設備」を選択
- 2. 「ヒヤリハット」を入力
- 3. 「カテゴリ提案」をクリックし、「カテゴリ」のテキスト ボックスに自動でカテゴリが設定されることを確認
- 4. 「画像を追加」をクリックし写真を追加
- 5. 「危険度自動判定」をクリックし、「危険度」の数値と理由が自動で設定されることを確認
- 6. 「改善提案」をクリック



改善提案

危険な場所での写真撮影を禁止する

工場内での写真撮影は、安全確保のために禁止するべきです。 危険な場所での写真撮影は事故のリスクを高める可能性があり ます。

安全な撮影ポイントを指定する

工場内には安全な撮影ポイントを設け、設備の写真撮影を行う際はそこで撮影するよう指示するべきです。これにより、事故のリスクを最小限に抑えることができます。

設備の点検頻度を増やす

故障した設備の写真を撮る必要が生じるような状況を未然に防ぐために、設備の点検頻度を増やすことを検討してください。これにより、故障の早期発見と修復が可能となります。

1. 任意の対策をクリック





- 1. 「対策概要」「対策詳細」が設定されていることを確認
- 2. 「投稿」をクリック





- 1. 「工場」「設備」を選択
- 2. チャットアイコンをクリック





- 1. 「アシスタント (Copilot) に相談する」をクリック
- 2. 過去のヒヤリハットの登録データを基にした回答が 生成されることを確認
- ※データ反映まで時間がかかる場合があります。 登録したデータが回答に反映されない場合は、 数分おいてから再度ボタンをクリックしてください。





© 2023 Microsoft Corporation. All rights reserved.

<u>この資料は、マイクロソフトの機密情報</u>が含まれており、貴社のみを対象として開示させて頂くものです。

この資料に記載されている情報は、情報の提供のみを目的としており、この資料の発行時点におけるマイクロソフトの見解を反映したものです。 市場および他社製品も変化していくため、発行以降の正確性に関して、マイクロソフトはいかなる保証もいたしません。 明示、黙示または法律の規定にかかわらず、これらの情報についてマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。